

一関市議会 教育民生常任委員会 記録

会議年月日	令和5年10月18日(水)			
会議時間	開会	午前10時6分	閉会	午後5時13分
場 所	第3委員会室			
出席委員	委員長 永澤 由利		副委員長 千葉 信吉	
	委員 岩 渕 優		委員 那 須 勇	
	委員 佐藤 真由美		委員 菅 原 行 奈	
	委員 門 馬 功		委員 千 葉 大 作	
遅 刻	遅 刻 なし			
早 退	早 退 なし			
欠席委員	欠 席 なし			
事務局職員	栃澤議事係長			
紹介議員	なし			
出席説明員	小菅教育長、及川教育部長			
参 考 人	なし			
本日の会議に 付した事件	(1) 正副委員長の互選について (2) 調査事項について (3) 学校給食費について(食材の高騰状況) (4) 一関市の教育について			
議事の経過	別紙のとおり			

教育民生常任委員会記録

令和5年10月18日

(午前10時6分 開会)

書記 : 本委員会の書記を担当いたします栃澤嘉幸と申します。
よろしくお願ひいたします。
それでは初回の委員会でございますので、委員長、副委員長の互選を行うこととなります。
この互選に関しましては、委員会条例第9条第2項の規定により、年長委員がこの職務を行うこととなっております。
それでは年長の千葉大作委員、よろしくお願ひいたします。

(年長委員「委員長席」に着席)

臨時委員長 : 改めまして皆さん、おはようございます。
千葉大作でございます。
委員会条例の規定により、委員長選任までの議事を取り運びますので、よろしくお願ひをいたします。
ただいまの出席議員は、8名です。
定足数に達しておりますので、委員会は成立いたしました。
これより本日の会議を開きます。
録画、録音、写真撮影を許可しておりますので、御了承願ひます。
委員長互選についてお諮りをいたします。
互選の方法をいかがいたしますか、御意見の発表をお願ひいたします。
門馬委員。

門馬委員 : 委員長の互選方法については指名推選とし、その指名権を本委員に与えていただきま
すようにお諮り願ひます。

臨時委員長 : ただいま、門馬委員から委員長互選については指名推選とし、指名権を門馬委員に
一任されたいとの発言であります。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

臨時委員長 : 異議ありませんので、指名願ひます。
門馬委員。

門馬委員 : 委員長には永澤由利委員を指名いたします。

臨時委員長：ただいま、門馬委員から永澤委員を委員長に指名したいという発言がございました。
ただいまの指名のとおり御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

臨時委員長：異議なしと認め、委員長には永澤由利委員が当選されました。
委員長が決まりましたので、委員長と交代をいたします。
御協力ありがとうございました。

（委員長席に着席）

委員長：それでは改めまして、おはようございます。
ただいまは、御指名、推選いただきまして、誠にありがとうございました。
今後ともよろしく願い申し上げます。
これまでと同じメンバーというような委員会構成でございまして、大変これまでもお世話になりまして、今、キャリアの話が出ましたけれども、私、若葉マークというような形で進めさせていただきました2年でございました。
ですが、教育民生常任委員会というのは、市民生活に一番近い常任委員会というように考えておりますので、引き続き皆様のお力をお借りしながら、市民の暮らしに少しでも役立つような常任委員会になるように努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。まして挨拶といたします。

委員長：それではこれより、副委員長の互選を行います。
副委員長の互選の方法についてお諮りいたします。

（「委員長指名」の声あり）

委員長：ただいま委員長指名との発言がありました。
お諮りいたします。
副委員長は委員長指名との発言であります。委員長において指名することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

委員長：異議ありませんので、指名いたします。
副委員長には千葉信吉委員を指名いたします。
ただいま指名のとおり御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

委員長：異議なしと認め、副委員長には、千葉信吉委員が当選されました。
副委員長は、副委員長席に着席の上、挨拶をお願いいたします。

(副委員長「副委員長席」に着席)

副委員長：改めましておはようございます。

副委員長を務めさせていただきます千葉信吉でございます。

4年間継続というのはなかなか珍しいことで、皆さんも御一緒ですので、委員長を補佐しながら、いろいろな課題がありますので、皆さんと一緒に御協力をいただきながら、いろいろお話をする中で務めてまいりたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

委員長：以上で、正副委員長の互選についてを終わります。
午後4時まで休憩します。

(休憩 10:13~16:00)

委員長：ただいまの出席委員は8名です。

定足数に達しておりますので、委員会を再開します。

本日の所管事務調査に当たり、当局から教育長の出席を求めたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

御異議ありませんので、議長を通じて、教育長の出席を求めることといたします。

それでは、これより所管事務調査を行います。

初めに、調査事項についてを議題とします。

書記より説明させます。

栃澤書記。

書記：書記の栃澤と申します。

よろしくをお願いいたします。

前任期の委員会で協議した引継事項をお手元に配付いたしました。

説明は省略いたしますが、調査事項について、改めて各委員から提出いただき、前回の引継事項と併せて御協議、決定いただきたいと思いますので、次回の委員会の日程の協議と併せて、調査事項の提出期限について御協議をお願いいたします。

次に、11月7日、火曜日の午後に千厩中学校において、学校公開が行われます。

詳細な資料は届いておりませんが、視察も可能と聞いております。

後日資料はメールにてお送りしたいと思います。

議員活動の一環として視察される、または委員会として視察されることも可能かと思いますが、御協議をお願いいたします。

ただし、委員会として視察する場合、別用務にて議会バスを使用する予定になってございまして、当日は送迎はできないことから現地集合となると思われま

以上でございます。

委員長：初めに、当委員会における調査事項について協議を行います。

書記から説明のあったとおり進めてまいりたいと思いますが、質疑、意見交換を行います。

資料を御覧いただきながら、御意見をお願い申し上げます。

休憩いたします。

(休憩 16 : 03 ~ 16 : 20)

委員長：再開いたします。

調査項目の提出期限につきましては10月23日までとし、小項目も含め3項目をお選びいただきまして、書記に報告いただいて、今後の調査事項について、それぞれの意見をまとめるということで進めたいと思います。

さよう進めることに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長：異議ありませんので、さよう決定いたしました。

次回の委員会は11月15日の午前11時に開催することといたします。

次に、11月7日火曜日、千厩中学校の学校公開についての協議をいたします。

ただいま、書記のほうから説明いたしましたが、学校公開について皆様の御意見を伺いたいと思います。

岩渕委員。

岩渕委員：どういう内容、中身になっていきますか。

何がポイントなのですか。

そこを教えてください。

委員長：栃澤書記。

書記：一般的な授業ということで、去年のようなICTに特化したというようなことではないようです。

中学校で持ち回りで公開しているという形になっているようです。

委員長：岩渕委員。

岩渕委員：一関市内の中学校の関係者が一堂に集まるというイメージですね。

委員長：栃澤書記。

書記 : 委員おっしゃるとおり、一堂に集まってやるということでございます。
あと補足ですが、小学校については既に学校公開が終わっておりますので、残っているのは、中学校だけということでございます。

委員長 : 菅原委員。

菅原委員 : 学校公開ですが、去年はICTの授業がどのようなものかというようなテーマがあつて、学校公開の授業を見に行つたと思うのですが、今回の場合、一般の授業公開ということでそれはいいのですが、私たちが何を目的に見に行くのかというものがなければ、ただ議員がぞろぞろと行って、学校の迷惑になるのではないかという懸念があるのです。私たちの目的をはっきりさせる必要があるのではないかと思います。

委員長 : 御意見ありがとうございます。
休憩します。

(休憩 16 : 24 ~ 16 : 26)

委員長 : 再開します。

それでは、千厩中学校の学校公開については、教育民生常任委員会による視察を行わず、また各委員も対応しないということに決定したいと思ひます。
御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう進めることといたします。
以上で、調査事項についての協議を終わります。
休憩します。

(休憩 16 : 27 ~ 16 : 30)

委員長 : 再開いたします。

学校給食費について(食材の高騰状況)を議題といたします。
当局より説明を求めます。
及川教育部長。

教育部長 : それでは学校給食費についてということで、食材価格の高騰状況について、私のほうから報告させていただきたいと思ひます。

資料を御覧いただきたいと思ひます。

初めに、上の表でございますが、県内における食料価格の変動状況ということで、一

関市に一番近い数値ということで、公表されている数値で、盛岡市の消費者物価指数でもって、検討しております。

この物価指数（食料）は、令和2年を100とした際の数値ということになっております。

これで見ますと、令和3年度については、最終月の3月で令和2年度と比較すると103.2%、約3%の上昇、令和4年度にあつては3月で113.4%ということで、約13%の上昇、そして今年度にあつては、最新の数値、8月で約16%上昇しているというような状況でございます。

これをグラフにしたのが下のグラフでございます。

本来は一本の線でつながっているのですが、月ごとにまとめましたので、3本の線で色分けで表示しております。

これを御覧いただきますと、まず令和4年度、真ん中の線で、中盤あたりから角度がきつくなってきて、上昇度合いが高くなっています。

それが今年度に入つては、幾らか緩やかになっています。

ただいずれ、令和3年度からずっと上昇し続けているといったような状況でございます。

その下が今度は給食費の関係になりますけれども、現行の一関市の1食当たりの給食費、小学校が279円、中学校が336円でやっております。

現行の給食費は令和2年度に改正していますので、上の物価指数の表とスタート時点は同じになっていますので、物価指数と同じような上昇割合で給食費にも影響が出ているというように見ております。

一番下、市としての対応状況でございます。

令和3年度については、特に対応はしないで現行の給食費で対応しておりました。

令和3年度中、平均上昇率が2%というような状況でございました。

令和3年度中は、現行の給食費の中で、栄養価は変えずに、メニューだったり食材のやりくりで何とかしのいできたというような状況です。

それが令和4年度に入つて、グラフを見ていただきますと8月あたり、105.3%、5%の範囲内までは何とか、現行の給食費の中で、やりくりが可能だったのですけれども、学校給食センターのほうからこれ以上、上がるともう何ともならなくなるというようなことを言われまして、それで教育委員会としては下半期、10月分から6%分、1食当たり小学校では17円、中学校で20円、これを賄材料費のほうに補填、これは補正予算で議決をいただきまして、約1,100万円、これを新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として補填をしたところでした。

それでなぜで6%なのかということなのですが、左側の数値、物価上昇率（見込み）のところ、その補正予算を検討する際に今後、令和4年度中の物価上昇が11%ぐらいまで上昇するのではないかというように見込みまして、その中でこれまで5%までは何とかやりくりが可能でしたので、11%から5%を引いた差額6%をそれでは補填しましょうということで対応したところでした。

そしてその下、今年度に入りましては、4月からの通年分について8%分、1食当たり小学校22円、中学校27円を同じく補填、これについても6月通常会議で議決をいた

だきまして、約 3,200 万円、同じく新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で補填したところでした。

これについても、今年度当初、令和 4 年の最終年が 13%でしたので、この 13%から 5%を差し引いた 8%分を、通年で補填したというような状況でございます。

あとは今後まだ上昇が続くものと見ておりまして、ここから下がるというのはなかなか現実的ではないと思っておりますので、来年度の分につきましては、これから来年度の予算の要求の中で検討していきたいというように考えているところでございます。

学校給食費について（食材の高騰状況）は、以上のとおりでございます。

委員長：ただいま説明をいただきました。

質疑、意見交換を行います。

発言は委員長が指名した後にお願いいたします。

那須委員。

那須委員：それでは物価の上昇率、今後も上昇するという部長のお話もございましたが、今後の上昇率を大体どれぐらいまでを想定、見込んでいるのか。

令和 5 年度、今の段階の推移はありますけれども、これはなかなかどこまで、どこの時期まで上昇するかというところの判断は、これはもう市だけでない、国のほうの状況を見ながら、国全体を見ながらということなのですが、その辺の、ある程度これぐらいという見込みを立てているのか。

上昇が緩やかになるという点を押さえているのか、その 2 点について伺います。

委員長：及川教育部長。

教育部長：来年度の上昇割合につきましてはこの物価指数が大体、2 か月遅れぐらいで公表になっておりますので、予算査定の中で、ぎりぎりまで最新の数値を見ながら、判断したいというように考えております。

委員長：那須委員。

那須委員：もう一つの質問の、ある程度教育委員会として、市として、なだらかになるというようなところは、どの程度押さえているのか。

委員長：及川教育部長。

教育部長：大きいところで牛乳代、米の価格、牛乳につきましては、毎回上がっているような状況もありますし、米価についてもそろそろ出てくると思うのですが、上がるのではないかとこのように思われます。

あとは世界情勢を見ますと、なかなか落ち着くという状況にはないと考えております。まだまだ上がっていくのではないかと考えております。

委員長　：岩渕委員。

岩渕委員：令和4年度、令和5年度で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を当て込んでいますけれども、今は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使い切って、ない状況だと思うのですが、来年度は国がどうするかまだはっきりしてないので分かりませんが、まず今はありませんよねという確認です。

委員長　：及川教育部長。

教育部長：もう今はないというように確認しております。

委員長　：岩渕委員。

岩渕委員：ちょっと素人なので、どこまで物価指数が上がっていくかということは分かりませんが、下がることはまずないだろうということで、どういう根拠があつて5%まで踏ん張れるということになるのですか。

委員長　：及川教育部長。

教育部長：これまでの実績、令和3年度と令和4年度の8月時点の物価上昇が105.3%、このあたりまでは何とかやりくりができていたと。
ただ、この辺が限界だったところでの5%といったところがございます。

委員長　：岩渕委員。

岩渕委員：実際、給食を作っているところが学校給食センターですが、本当に5%分ということをつつまでも考えていいのでしょうか。
5%まで頑張れるということではなくて、そういうことではなくて、100%を超えたら、助けてという話にならないものなのでしょうか。

委員長　：及川教育部長。

教育部長：本来であれば、そのようにしたいのですがけれども、ただ、これを上げるということは、児童生徒分は市費で補填しますけれども、一緒に給食を食べる教職員分であったり、あとは学校にいる会計年度任用職員の方々については、その分は追加で支払っていただいておりますので、あまり極端に上げすぎるとそちらへの影響もあります。

あとは一関市の学校給食センターで平泉中学校の給食も作っておりますので、上げるということは平泉町への影響もあるということで、この上げ幅については最小限の中でやっているというような状況です。

委員長 岩淵委員。

岩淵委員：分かりました。

ありがとうございます。

委員長：ほかになければ、質疑、意見交換を終わりたいと思います。

以上で、学校給食費についての調査を終わります。

次に、一関市の教育についてを議題とします。

当局より説明を求めます。

小菅教育長。

教育長：それでは、一関の教育の現状と課題と題しましたペーパーがありますけれども、私の任期、3期9年半にわたって教育長職を務めさせていただきました。

それを振り返る中で、非常に大きかった部分について、大まかに書かせていただきました。

1つ目は児童生徒数の推移から、統合の問題について、随分、統合をしてきた部分がありますので、そういう部分が非常に大きかったというように思っております。

この児童、生徒数の推移についてよく捉えた上で今後対応する必要があると思っております。

2つ目は教育振興基本計画の中で、ことばの力を育てる教育とキャリア教育については、実は合併以来これを柱としてきておりましたので、私の任期中もこれを継続しながら質的に発展できるような形で取り組んできたところであります。

3つ目は教育文化施設、図書館と博物館についてですが、これについても図書館については、平成26年度に新しい一関図書館ができて、非常に高い評価を受けながら図書館運営がされてきたと思えますし、博物館についても、その認知度は旧一関市に限らず、東磐井の方にも、それから県外にも随分広がってきたという感じを持っております。

4番目の世界遺産拡張登録の取組と現在については、しっかりこれまでの総括と現在を見た上で、今後の本寺地区について、市としてできること、それから本寺地区に頑張してほしいこと等を今後一緒に考えていく必要があるというように思っております。

最後は今後の課題として不登校、部活動の地域移行、ICT、それから学校運営支援協議会、この辺りが今後教育の大きな課題になっていくというように思っておるところであります。

現状と課題については、以上であります。

委員長：ありがとうございます。

休憩します。

(休憩 16:44~17:12)

委員長 :再開いたします。
意見交換を行います。

(「なし」の声あり)

委員長 :なければ、意見交換を終わります。
それでは、小菅教育長におかれましては、平成26年から9年半、一関市教育委員会教育長を務められ、当市の発展に多大なる御尽力を賜りました。
また、教育民生常任委員会においても、委員から様々な質疑、意見に対する確かな答弁をいただきました。
ただいま、このような資料を頂戴いたしまして、御説明をいただきました。
時代が大きく変わる中、小菅教育長の手腕を大きく評価するところでございます。
これまでの様々な御貢献に対しまして、感謝を申し上げます。
以上で、一関市の教育についてを終わります。
そのほか委員の皆様から何かございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 :なければ、以上で本日の案件は終了しました。
これを持ちまして本日の委員会を終了します。
御苦労さまでした。

(午後5時13分 終了)